

天皇杯・皇后杯 2025 年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部） 実施要項

（※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください）

- (1) 名称 天皇杯・皇后杯 2025 年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 (2) 期 日 2025 年 1 月 21 日(火)～26 日(日)
 (3) 会 場 東京体育館
 JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅、都営大江戸線「国立競技場」駅から徒歩 1 分
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL:03-6380-4832
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 一般社団法人東京都卓球連盟
 (6) 協 賛 全国農業協同組合連合会、スターツコーポレーション株式会社、シチズン時計株式会社、
 日本生命保険相互会社
- (7) 用具協賛 株式会社三英（卓球台、フロアマット）、日本卓球株式会社（ボール）
 (8) スポーツ振興助成 一般財団法人上月財団
- (9) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③ジュニア男子シングルス ④ジュニア女子シングルス
 (10) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 男女シングルスの第 1 ステージは 11 ポイント 5 ゲームマッチ、第 2 ステージ（ベスト 32 決定戦以降）
 は 11 ポイント 7 ゲームマッチで行う。
- (11) 競技日程 別途連絡する。
 (12) 参加人員 下記表のとおり

表 1

都道府県名	男子シングルス	女子シングルス
東京（開催地）	10	10
愛知	9	9
北海道	7	7
埼玉、静岡、福岡	6	6
神奈川、大阪、兵庫	5	5
京都	4	4
山形、茨城、栃木、千葉、新潟、長野、岡山、広島、山口、長崎	3	3
青森、岩手、宮城、秋田、福島、群馬、山梨、富山、石川、福井、三重、岐阜、 滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、 宮崎、鹿児島、沖縄	2	2

表 2

都道府県名	ジュニア男子	ジュニア女子
東京（開催地）、千葉、神奈川	8	8
埼玉、静岡、愛知、兵庫	7	7
北海道	6	6
茨城、福岡	5	5
宮城、福島、栃木、新潟、大阪	4	4
山形、群馬、長野、岐阜、京都、岡山、広島、山口、愛媛	3	3
青森、岩手、秋田、山梨、富山、石川、福井、三重、滋賀、奈良、和歌山、 鳥取、島根、香川、徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2

表 3 ブロック推薦数（男女シングルスまたはジュニア男女いずれか 1 種目）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
男子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

(13) 参加資格

- ① 参加者は、2024 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
- ② 男女シングルス、ジュニア男女に出場する選手は日本国籍を有する者とする。ただし、ジュニア男女は下記の各号の 1 つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 - (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き 3 年以上日本に住所または居所を有する者。
 - (ロ) 日本で生まれたもので引き続き 3 年以上、日本に住所または居所を有する者。
またはその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 - (ハ) 引き続き 10 年以上日本に居所を有する者。
- (ニ) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から 3 年を経過し、かつ引き続き 1 年以上日本に住所を有する者。

- ③ 各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
- ④ 日本学生卓球連盟にも登録している者は、種目毎に大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の2ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ返信用封筒（宛名を記入、切手を貼付）を添えて提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙を FAX すること。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙（コピー可）を提出すること。
- ⑤ ジュニアは、2007年（平成19年）4月2日以降に生まれた者であること。（高校2年生以下）
- ⑥ 同一人物における同一種目の予選会出場は1ヶ所限りとする。
※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
- ⑦ 無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	2024年全日本選手権	男女シングルス各ベスト16位まで・・・一般に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生 ……一般に
2		2024年全日本社会人選手権	男女シングルス各8位まで・・・一般に
3		2023年全日本選手権(カゲット)	14歳(中学2年)以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳(中学1年)以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
4		2024年全国中学校大会	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに
5	日本リーグ	*2024年の日本リーグ	男女シングルス各8名・・・一般に
6	日学連	*2024年の全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで・・・一般に
7	高体連	*2024年の全国高校選手権	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに (ただし、各16名まで)
8	日本知的 日本肢体 日本ろうあ	*各団体より推薦	男女シングルス各1名（3加盟団体とも）・・・一般に

- 1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
- 2) 全日本や全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。
- 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。
- 4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。

(14) 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② 一般シングルス種目の上位16シードはフリー抽選とするが、組合せ全体を通して所属チームに関する均等配分を優先する原則と都道府県の均等配分の原則が適用される。ただし、ジュニア種目の上位8シードはフリー抽選とせず所属チームおよび都道府県の均等配分を考慮し抽選を行う。
- ③ 一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルのランキング推薦選手はベスト32決定戦よりスーパーシードとして出場する。ただし、推薦選手数がスーパーシード枠数を超える場合は組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
- ④ 一般男女シングルスでは、ベスト32決定戦からを第2ステージ扱いとする。
- ⑤ テーブルはグリーンもしくはブルーを使用する。
- ⑥ 使用球は、日本卓球株式会社の「3スター プレミアム クリーン」のみを使用する。
- ⑦ ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
- ⑧ 同じユニフォームによる対戦を避けるため、色の異なるユニフォームを2種類以上持参すること。

- ⑨ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして JTTA が公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑩ 全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
- ⑪ フロアマットを使用することがある。

(15) 参加料 シングルス 1名 3,000 円

(16) 申込方法

- ① 大会申込システムを使用して申し込むこと。
なお主管地へは、申込データを本会より申込締切日の翌日を目安にメールで送付する。
参加料は、加盟団体より現金書留または振込にて（公財）日本卓球協会宛に送金すること。
【現金書留】 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2
Japan Sport Olympic Square（公財）日本卓球協会 宛
TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931
【振込】 みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会
- ② 推薦出場の手も含め全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
- ③ 卒業高等学校所在地から予選会を経て出場権を獲得した場合についてはその都道府県から申込み、ランキング推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申込みをすること。
- ④ ブロック推薦の選手申込みについては、重複、欠落がないよう注意すること。

(17) 申込締切 2024 年 11 月 25 日(月)必着のこと。
申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

(18) 宿泊 各自でご手配ください。

(19) その他

- ① 一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は認めない。
- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会宛に連絡すること。棄権する場合は、理由を付して当該加盟団体長宛に文書を持って届け出ること。そして、加盟団体長はその旨をただちに本会、主管地へ指定用紙にて連絡すること。
- ③ 開会式には原則として全員参加すること。
- ④ 大会参加中、万一事故のあった場合は本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑤ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等をした場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

- ⑦1. 本競技大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- 2. 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
- 3. 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でもドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
- 4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
- 6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

① (2023年度) 2024年全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)からの推薦(申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	張本 智和	(宮城)	智和企画	1	早田 ひな	(福岡)	日本生命
2	戸上 隼輔	(東京)	明治大学	2	張本 美和	(神奈川)	木下卓球アカデミー
3	吉村 真晴	(東京)	TEAM MAHARU	3	横井 咲桜	(大阪)	ミキハウス
4	篠塚 大登	(愛知)	愛知工業大学	4	赤江 夏星	(静岡)	榊デンソー
5	大島 祐哉	(東京)	木下グループ	5	平野 美宇	(神奈川)	木下グループ
6	宇田 幸矢	(東京)	明治大学	6	木村 香純	(東京)	トップおとめピンポンズ名古屋
7	高木和 卓	(千葉)	ファースト	7	長崎 美柚	(神奈川)	木下グループ
8	田中 佑汰	(佐賀)	個人	8	木原 美悠	(神奈川)	木下グループ
9	村松 雄斗	(鹿児島)	鹿児島県スポーツ協会	9	伊藤 美誠	(大阪)	スターツ
10	松島 輝空	(神奈川)	木下卓球アカデミー	10	橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
11	横谷 晟	(愛知)	愛知工業大学	11	枝廣 瞳	(広島)	中国電力ライシス
12	加山 雅基	(愛知)	愛知工業大学名電高等学校	12	南波侑里香	(滋賀)	トップおとめピンポンズ名古屋
13	松平 健太	(千葉)	ファースト	13	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
14	吉山 僚一	(東京)	日本大学	14	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
15	丹羽 孝希	(東京)	サントホルヘインクス	15	成木 綾海	(広島)	中国電力ライシス
16	小野寺翔平	(東京)	リコー	16	大藤 沙月	(大阪)	ミキハウス
ジュニア男子				ジュニア女子			
1	松島 輝空	(神奈川)	木下卓球アカデミー	1	張本 美和	(神奈川)	木下卓球アカデミー
2	吉山 和希	(埼玉)	岡山リベッツ	2	面手 凜	(岡山)	山陽学園高校
3	小野 泰和	(島根)	出雲北陵中・高	3	上澤 杏音	(大阪)	香ヶ丘リベルテ高校
4	坂井 雄飛	(愛知)	愛知工業大学名電高等学校	4	兼吉 優花	(大阪)	四天王寺高校
5	渡部 民人	(神奈川)	星槎中学校	5	高森 愛央	(大阪)	ミキハウスJSC
6	岡本 翼	(神奈川)	木下卓球アカデミー	6	竹谷 美涼	(大阪)	貝塚第二中
7	菅沼 翔太	(愛知)	愛知工業大学名電高等学校	7	萩原 怜奈	(大阪)	四天王寺高校
8	岩井田駿斗	(山口)	野田学園中学校	8	遊佐 美月	(愛知)	愛知みずほ大学瑞徳高校

② (2024年) 第58回全日本社会人卓球選手権大会からの推薦(申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	有延 大夢	(佐賀)	T.T彩たま	1	笹尾明日香	(佐賀)	日本生命
2	高木和 卓	(千葉)	ファースト	2	麻生 麗名	(佐賀)	日本生命
3	阿部 悠人	(東京)	シチズン時計	3	井 絢乃	(広島)	中国電力ライシス
4	高見 真己	(和歌山)	日鉄物流プレイヤーズ	4	三村 優果	(東京)	サンリツ
5	松平 賢二	(東京)	協和キリン	5	永尾 堯子	(東京)	サンリツ
6	松下 大星	(大阪)	クローバー歯科カスピッツ	6	青木 優佳	(広島)	中国電力ライシス
7	浅津 碧利	(東京)	シチズン時計	7	野村 萌	(静岡)	デンソー
8	江藤 慧	(大阪)	クローバー歯科カスピッツ	8	枝廣 瞳	(広島)	中国電力ライシス

③ 2023年全日本卓球選手権大会(カデット14歳以下の部) ランキングよりジュニアへ推薦(申込は都道府県卓から)

14歳以下男子シングルス				14歳以下女子シングルス			
1	岩井田駿斗	(山口)	野田学園中	1	吉田 璃乃	(高知)	明德義塾中
2	吉田 蒼	(新潟)	NexuS.F	2	新谷 莉央	(大阪)	ミキハウスJSC
3	原井 敢田	(愛知)	愛工大名電中	3	藤本 和花	(神奈川)	木下アカデミー
4	永峰 佳麒	(山口)	野田学園中	4	岩見 百恵	(静岡)	徳増卓球クラブ
5	郡司 景斗	(愛知)	愛工大名電中	5	渡会 宥	(大阪)	ミキハウスJSC
6	岡本 翼	(神奈川)	木下アカデミー	6	上田 遥音	(兵庫)	セントラルSHIN
7	中野 琥珀	(山口)	野田学園中	7	井上 真夕	(大阪)	ミキハウスJSC
8	伊藤 佑太	(神奈川)	木下アカデミー	8	隈元 舞花	(岡山)	就実中

④ (2024年) 第55回全国中学校卓球大会ランキングよりジュニアへ推薦(申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	川上 流星	(神奈川)	星槎中学校	1	高橋 青葉	(神奈川)	星槎中学校
2	永峰 佳麒	(山口)	野田学園中学校	2	渡会 宥	(大阪)	四天王寺中学校
3	岡本 翼	(神奈川)	星槎中学校	3	佐藤 希未	(大阪)	貝塚第二中学校
4	伊藤 佑太	(神奈川)	星槎中学校	4	伊藤 友杏	(大阪)	貝塚第二中学校
5	浅見 昂希	(福岡)	中間東中学校	5	井上 真夕	(大阪)	四天王寺中学校
6	大野 斗真	(山口)	野田学園中学校	6	金田 優陽	(東京)	入谷南中学校
7	郡司 景斗	(愛知)	愛知工業大学名電中学校	7	香川さくら子	(大阪)	貝塚第二中学校
8	平塚 健友	(石川)	城南中学校	8	面手 一花	(岡山)	山陽学園中学校

⑤2024年の日本リーグ実業団連盟からの推薦（申込は都道府県卓卓から）

男子シングルス				女子シングルス			
1	木造 勇人	(埼玉)	関西卓球アカデミー	1	菅澤柚花里	(静岡)	デンソー
2	石山 慎	(東京)	ケリッツ・アンド・パートナーズ	2	木村 光歩	(広島)	中国電力ライシス
3	吉村 和弘	(東京)	ケリッツ・アンド・パートナーズ	3	梅村 優香	(東京)	サンリツ
4	山本 勝也	(東京)	リコー	4	白山 亜美	(東京)	サンリツ
5	川上 尚也	(東京)	日野キングフィッシャーズ	5	中森 帆南	(広島)	中国電力ライシス
6	馬渡 元樹	(神奈川)	信号器材	6	鶴岡 菜月	(岐阜)	十六フィナンシャルグループ
7	出雲 卓斗	(東京)	ケリッツ・アンド・パートナーズ	7	岩越 帆香	(三重)	エクセディ
8	上村 慶哉	(東京)	シチズン時計	8	船場 清華	(岐阜)	十六フィナンシャルグループ

⑥(2024年)第90回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)からの推薦(申込は都道府県卓卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	徳田 幹太	(東京)	早稲田大学	1	出澤 杏佳	(東京)	専修大学
2	岡野 俊介	(岐阜)	朝日大学	2	青井さくら	(茨城)	筑波大学
3	伊藤 礼博	(東京)	日本大学	3	枝廣 愛	(東京)	中央大学
4	濱田 一輝	(東京)	早稲田大学	4	木塚 陽菜	(兵庫)	神戸松蔭女子学院大学
5	三浦 裕大	(茨城)	筑波大学	5	杉田 陽南	(東京)	早稲田大学
6	横谷 晟	(愛知)	愛知工業大学	6	鶴岡 美菜	(兵庫)	神戸松蔭女子学院大学
7	野田 颯太	(東京)	専修大学	7	面田 采巳	(愛知)	愛知工業大学
8	谷垣 佑真	(愛知)	愛知工業大学	8	岡田 琴菜	(愛知)	愛知工業大学

⑦(2024年)第93回全国高等学校選手権大会からの推薦(申込は都道府県卓卓から)

(注) J:ジュニアに推薦 ★:一般・ジュニアともに推薦対象にならない選手

男子シングルス				女子シングルス			
1	小野 泰和	(島根)	出雲北陵高校	J 1	竹谷 美涼	(大阪)	香ヶ丘リベルテ高校
J 2	齋藤俊太郎	(高知)	明德義塾高校	2	兼吉 優花	(大阪)	四天王寺高校
3	鈴木 柊平	(石川)	遊学館高校	3	栗山 優菜	(愛知)	桜丘高校
J 4	谷本 拓海	(兵庫)	育英高校	J 4	山室 早矢	(愛知)	桜丘高校
5	渡邊 康靖	(愛知)	愛工大名電高校	J 5	高森 愛央	(大阪)	四天王寺高校
6	藤 大斗	(石川)	遊学館高校	J 6	面手 凜	(岡山)	山陽学園高校
7	石山 浩貴	(大阪)	上宮高校	J 7	青木 咲智	(大阪)	四天王寺高校
8	坂井 雄飛	(愛知)	愛工大名電高校	8	田 旻一	(愛知)	桜丘高校
★ 9	水谷 悠真	(東京)	実践学園高校	J 9	大野 紗蘭	(福岡)	希望が丘高校
★ 10	久保 賢輔	(福岡)	希望が丘高校	★ 10	遊佐 美月	(愛知)	愛み大瑞徳高校
J 11	岸本 漣斗	(岡山)	関西高校	J 11	熊田 陽花	(埼玉)	正智深谷高校
J 12	岡本 智心	(山口)	野田学園高校	★ 12	岩木 仁香	(神奈川)	横浜隼人高校
★ 13	肖 駿駿	(島根)	出雲北陵高校	★ 13	小野 蒼彩	(広島)	進徳女子高校
J 14	杉浦 涼雅	(愛知)	愛工大名電高校	★ 14	附田美瑠姫	(青森)	青森商業高校
J 15	鈴木 拓登	(大阪)	上宮高校	J 15	櫻井 花	(神奈川)	星槎横浜高校
J 16	渡邊 峻	(岩手)	専大北上高校	★ 16	山岸 唯菜	(新潟)	新潟産大附高校
ベスト32(2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで)				ベスト32(2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで)			
Jベ	森 真奈斗	(福岡)	希望が丘高校	Jベ	渡邊 心葉	(高知)	明德義塾高校
Jス	長尾咲陽人	(群馬)	沼田高校	Jス	浅井 柚香	(広島)	進徳女子高校
Jト	立藤 来夢	(大阪)	大阪桐蔭高校	Jト	日下部詩季	(石川)	遊学館高校
J32	池田 皓翔	(岩手)	専大北上高校	J32	立川 柚菜	(高知)	明德義塾高校
J	西面 陸輝	(兵庫)	育英高校	J	島村 果怜	(神奈川)	横浜隼人高校
J	村上 健太	(岐阜)	富田高校	J	村山 緋翠	(北海道)	札幌大谷高校
J	引地 亮斗	(徳島)	城南高校	J	東 ゆめ	(島根)	明誠高校
J	高橋 久遠	(岩手)	専大北上高校	J	樋浦 光	(埼玉)	正智深谷高校

⑧2024年の3加盟団体からの推薦(申込は都道府県卓卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
一般社団法人 日本知的障がい者卓球連盟				一般社団法人 日本肢体不自由者卓球協会			
竹守 彪	(千葉)	TOMAX	伊藤 慎紀	(神奈川)	CTCひなり株式会社		
一般社団法人 日本ろうあ者卓球協会				一般社団法人 日本ろうあ者卓球協会			
舟山 真弘	(東京)	早稲田大学	三浦 稟々	(神奈川)	日本大学高等学校		
川口 功人				山田 萌心			
(愛知)	トヨタ自動車	(島根)	明誠高等学校				

注1) 段級制規程要約(出場回数)

段位取得について(2023年3月の理事会で承認された段級制規程改定に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部) ③全日本選手権大会(一般・ジュニアの部)
- ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会 ⑥全日本選手権大会(ダブルスの部)

上記6大会に出場する者は、2024年度以降の大会出場は有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。